

茨城NPO情報

茨城のNPO活動を応援する月刊情報紙

1...コラム空飛ぶ帚・NPOのひとびと・トピックス
2...NPO一日体験・情報掲示板・五軒町だより・あとがき

第14号

2003.12

編集/発行
特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ
〒310-0063 茨城県水戸市五軒町2丁目2番23号102
☎029-300-4321 FAX 029-300-4320
URL <http://www.npocommons.org>
E-mail info@npocommons.org

MONTHLY COMMONS

地域への定着を目指そう



12月1日でNPO法は施行5周年を迎えた。

縦割り行政の許可制ではない法人制度、行政のお墨付きと保護監督によらず、自由に活動し、市民の支持を得た組織が発展する仕組みを目指した制度は、分権型・自己責任型の社会を先取りした社会実験だった。様々な変化が起こり、最近ではあやしいNPOが話題になり出した。今後どうなるか、次の3つが焦点。▶ひとつは、NPOの企業化現象。介護保険や行政事業の委託など事業型NPOで、企業との競合が起き、ボランティアな市民団体と事業手段としてNPO法人格をもつ事業者とが混在しだした。5年前に「市民活動」が「特定非営利活動」に変わってしまった弊害だ。▶2つ目は行政との関わり。連携のルールづくりが求められる。安易なNPO支援や官製NPOの増加、NPO側での委託収入依存が進むと市民団体の下請け団体化が危惧される。市民団体の自立を支える寄付を受けやすくする税制優遇制度の改善も課題。▶3つ目は住民への浸透が進むかどうか。人々の声を踏まえた提言や事業化など行政や企業が担えないことをするところにNPOの存在意義はある。日本に真のNPOを育てる作業は、砂漠で野菜を育てることだと5年前言われた。今、野菜は少し育ってきた。これから野菜に水や栄養を与えるのは、一人一人の市民。

(文 横田能洋)

茨城県認証NPO法人

178法人(12月1日現在)

内閣府認証県在NPO法人

28法人(同)

勤労者マルチライフ支援事業
勤労者ぼらんていあ・ねっと
<http://www.volunteer-net.jp>

余暇や退職後の時間を活用して、ボランティア活動を始めませんか。コモンズは、あなたの社会貢献活動を応援しています!

「セカンドライフ」の充実を!

ぽん、と背中を押してあげること



例えば、農村景観と習俗は都市生活者の心をとらえる“商品”。「ふるさと元気塾」理事、白石智洋さん(46=里美村)には、グリーンツーリズムの主役は、優れた技術や人間性を持ちながらも地元で隠れている人たちだと映る。

人材が隠れている



グリーンツーリズムは山間部の経済を動かして、関わる人たちの活力になる。

「地域には、いろいろと持っているにもかかわらず、何かやりたいんだけど、出来なくて、もどかしい思いをしている人がたくさんいます」と白石さんが言う。これまで、里美村を舞台に「炭焼き」や「そば打ち」ほかいくつかのツーリズムの事業に携わってきた白石さん。その途上で、村の人の中には、「何かしたい」という切実な気持ちがあることを知るようになった。

なぜかは白石さんも分からない。単純に「自己実現」

とも言えるだろうが、そうした衝動を持っている人材が埋もれている、と感じる。村の中に深く入れば入るほど、面白い事が出来る人やグループがたくさんある。そして、隠れた人々を掘り起こす事の方が、行政サイドのお墨付きの、出来合いの人材を遠くから据えて来なくても、良いものが出て来る、とも思う。

「その人たちに場所をつくってあげる。ツーリズムのようなプログラムを提供し、背中をぽんと押してあげる。そうすると爆発的に動き出せることがあるんです。白石さんは、そうした人たちが力を発揮できる、橋渡しがしたい。

盛況な農家民宿

を集める力、⑤組織の枠を超えた協力関係を築く力、を豊かにすることを目指します。

地域福祉プロモーター養成講座

受講申し込み締め切り迫る!

次のプログラムの中から20時間以上受講していただきます。▶第1ステップ「住民福祉の講義と地域課題をみつけるワークショップ」(1月10日(土)午前10時～午後2時、水戸市福祉ボランティア会館、講師・木原孝久さん)▶第2ステップ「福祉現場実習」

ふるさと元気塾

白石智洋さん (里美村)

月は宿泊予約がほぼ満杯。来春以降も人気は続きそう。

自称「雑務担当」

「道の駅さとみ」の駅長をしている白石さん。自称「雑務担当」。30歳代前半に帰郷して以降、白石さんは敢えて、さまざまな場に顔を出した。1年間プロのサッカークラブ「水戸ホーリーホック」の非常勤役員だったこともある。

酒の席にもよく顔を出す。アイデアが出て、「白石、考えてみろよ」と声が掛ければ、その声のままにイベントなどの看板やチラシ、進行表を作ったり、仕入れの折衝をしたりと雑務を引き受ける。反省会の席で、さらなる雑務(仕事)が生まれることもたびたび。

下準備や雑務が否応なく物事の段取りを教え、ひいては地元での存在感を高めて、表に出てこない、地域の、サイレントな声も拾い上げる役回りも。

白石さんは、繰り返す。「地域でいらいらしている人の背中を、ぽん、と押してあげたい」と。

(文と写真 佐竹 明)

NPO法人「ふるさと元気塾」
〒310-4503
御前山村野口443の9
☎0295-55-3680
農家民宿「荒時邸」
☎0294-82-2337

TOPICS

(1月11日(日)～30(金)の間で4時間以上▶第3ステップ「交流合宿(実習ふりかえり、計画づくりと広報の仕方のワークショップ)」(1月31日(土)午後1時～2月1日午後2時、県中央青年の家)▶第4ステップ「地域での実践に役立つ講座」(2月中旬に県内5会場に分かれ開催、会場未定)。

定員は100人。費用は受講生登録費千円。この他にプログラムごとに宿泊研修(3千円)、実習費などをご負担いただきます。

問い合わせは、茨城NPOセンター・コモンズ ☎029-300-4321へ。

◎イベント案内◎

■「英検2級対策コース」および「通訳ガイド養成講座」生徒募集
「地域を訪れる外国の方のサポートをしたいと思う方、英会話力を向上したいと思う方のための研修講座です」

〈英検2級受験対策コース〉
日時 1月10日(土)～3月27日(土)
午後1時半～2時半(全12回)
場所 神栖町福祉会館2階ボランティアセンター
講師 当法人英語講師
参加費 会員2千500円/月 非会員3千円/月(テキスト代は自己負担)

※特典として「通訳ガイド養成講座」無料聴講できます。

〈通訳ガイド養成講座〉

日時 1月17日(土)～3月20日(土)午後3時～4時半。全10回
場所 神栖町福祉会館2階ボランティアセンター

講師 ネイティブスピーカー
内容 「英語通訳ガイド養成」

資格 英検2級レベルの力がある方
参加費 会員5千円、非会員8千円(テキスト代自己負担)

問い合わせ NPO法人N&N Corporation ☎0299-96-0222 E-mail nandn@sopia.or.jp

■引きこもりを考えるくみラーベの会参加者募集

「『引きこもりと家族のかかわり』を考える集い」として、親・家族を対象として活動中です。特に父親の参加を強く呼び掛けています。毎月第3日曜日に定期的に開催しています」

日時 1月18日(日)午後2時～5時
場所 みと好文カレッジ

参加費 300円
問い合わせ 秋野谷さん ☎029-232-3217

■筑波山麓自然学校～森とじっくりつきあう自然講座～第4回冬の自然講座「山の手入れと炭焼き」参加者募集

「人の生活と切り離され、今は荒れ果ててしまった里山の雑木林が多くなりました。里山の自然環境を維持するためには雑木林の手入れはかせませません。雑木林を手入れし、間伐材を利用して炭焼きや木工、野外クッキングを楽しみましょう。昨年成功したドラム缶窯の竹炭に加え、今年は雑木の黒炭にも挑戦します」

日時 1月30日(金)午前10時～2月1日(日)午後3時
▷1日目炭焼きの準備、飾り炭・木酢液採取の道具作りなど▷2日目炭焼きの火入れ～窯止めまで、燻製づくり▷3日目自然生クラブの炭窯見学(炭窯でピザを焼けるかも!)、炭の取り出し
場所 筑波ふれあいの里
講師 柳瀬敬氏(NPO法人自然生クラブ代表)・ウッドショップ100ほか
定員 炭焼き・木工に興味のある一般25

お問い合わせ 秋野谷さん ☎029-232-3217

笑いの渦! 和泉さんの狂言講座

commons設立5周年記念事業「和泉元彌さんと狂言を楽しもう」は11月8日、水戸市内で開かれました。親子連れなど300人を超えるたくさんのご来場に、心より感謝申し上げます。

なお、当日の様子の写真および寄せられたアンケートの集計結果をホームページで紹介しています。どうぞ御覧ください。

人(先着順)
参加費 1万4千円(つくば市内在住者)、1万6千円(市外)
問い合わせ 筑波ふれあいの里 ☎029-866-1519 FAX 029-866-1513 (火曜休館)

※詳細はNPO法人つくば環境フォーラム ☎FAX 029-863-5151 E-mail tef298@lime.ocn.ne.jpへ。

■起業・創業を目指す方の交流会ができました。会員募集

「創業や新しい事業を展開しようとしている人たちの交流の場。相互の情報交換や経営・雇用に関するネットワークが発足。気軽に参加しませんか。メールニュースも発行中」

日時 毎週木曜日夕の「雇用創出セミナー」(参加無料)の後

場所 水戸市南町水戸証券ビル6階

参加料 無料
問い合わせ 雇用・能力開発機構茨城センター企画部門 ☎029-221-1192

◎ボランティア募集◎

■森づくりボランティア募集

「雑木林の下草を刈り、落ち葉かきをしよう。落ち葉や小枝は堆肥づくりや炊き出しに使います。作業のあとは、ほかほかの豚汁や焼き芋であつたまろう。冬の雑木林には楽しいことがたくさん待っているよ」

日時 12月20日(土)午前10時～午後3時半
場所 かつらぎ公園(つくば春日)午前9時45分集合

参加費 300円(保険代ほか)
対象 一般(小学生は保護者同伴)

問い合わせ NPO法人つくば環境フォーラム ☎FAX 029-863-5151 E-mail tef298@lime.ocn.ne.jp

■独居老人宅や障害を持つ人のご家庭へお弁当の調理・配達ボランティア募集

「水戸市内の独居老人や障害者を対象に、週1度食事を宅配しているNPOです。お弁当の配達(運転できる方)、調理のお手伝いをしてくださる方を募集しています」

日時 毎週水曜日 午前9時～午後2時(調理、配達など仕事の内容によって時間は変わります)

場所 常澄農協
問い合わせ NPO法人ゆりの会 ☎029-269-3504(松田さん)

■「情報紙15号」発送作業を手伝って、NPOの活動の内側を知ろう!

「茨城のNPO情報をお届けしている情報紙15号を県内のNPO法人、自治体などに発送する作業です。お茶とお菓子を用意してお待ちしています。NPOがど



NPO 一日体験 レポート

募集中!!
*本欄は、市民の皆さんによるNPO訪問体験記です。「NPOが知りたい」「NPOで働いてみたい」と希望される方には格好の機会です。 commonsがコーディネートしますので、希望される方はご一報ください。



「茨城学生生活活動支援組織ぐっぴい」 ☎029-856-8356 〒305-0005 つくば市天久保 3-14-6-101

未来の教育現場に出会えた

「総合学習」、「学校と地域の連携」とのテーマで、大学生も地域の一員として、学校教育に参入するスタンスを学生側から問い掛ける「スクールボランティア フォーラム 2003」が11月29日、つくば市吾妻中学校にて開催されました。

主催は、「茨城学生生活活動支援組織ぐっぴい」のプロジェクトチーム「スクールボランティア支援委員会」。ぐっぴいとは「学生の思いを実現する場や、機会を提供すること」を目的とした県内の大学生らによるNPOで、私はこのぐっぴいの1スタッフとして参加しました。

参加者は、スクールボランティアを実践、または関心のある学生や地域の方、学校・行政関係の方々など。「分科会」では、地域、福祉、環境、農業、国際理解といった5つのジャンルに分かれ、総合学習のあり方を、それぞれの活動紹介から、学生が作った授業具体案や、学校側のニーズや課題などを出し合い

ました。実際に現場でどのようにそれぞれの立場で協力して活動するか、を討論しました。

「ふだんあまり関わりがない学校と地域が、ひとつのカリキュラムを生み出そうとしている」、「学生と行政が一つの教育現場を、経験の差など超越し、同じ目線で熱く考えている」、「世代の違いなど関係なく、地域と学生が重なるようとしている」、これらが私の目の前で展開していた“今”でした。

この場に、地域の触れ合い、連携などという言葉などはるかに凌駕する、誰も気付けないでいた教育の本質かつ理想郷が確かにあった、と感じました。

特に、参加した学生たちの、未熟でありながらも、教育に対するほとばしるような眼差しと意識の高さに、大いに触発されました。そして自分自身を取り巻いている環境一つ一つを、みんなでより良い方向性を見出すことの素晴らしさに気付くことができた学生がたくさんいたのではないのでしょうか。私はこの日、温かくな未来へと続く道を、心の中に、鮮やかに描くことができました。

(文と写真 井出大輔さん = 常磐大学1年)



五軒町だより

(事務日誌にかえて)

光の咲くまち



紅葉がきれいだった木々が、だんだん葉を落としていく。あすなるの並木もいつの間にか枝をおろされ、冬支度。街並みが少しさみしげに見える気がする。

そんな中、芸術館の広場前、ふとけやきの梢を透かして空を見上げると、枝に小さなまめ電球がたくさん付けられているのに気づく。アートタワーみとスターライトファンタジー実行委によるイルミネーション、光の花が咲く季節。

クリスマスそして年末年始、ますます寒くなっていくけれど、まちの人たちのボランティアと募金で灯されるその光は、まちと私たちの心を温めてくれるでしょう。

(文と絵 草間多佳子)

本紙常備施設・お店

- ハモナカフェ ☎029-871-2157 水戸芸術館 ☎029-227-8111 水戸カトリック教会 ☎029-221-3976 ギャラリー「街かど美術館」 ☎02957-2-0708 自然食レストラン「パンプキン」 ☎0293-42-1818 常陸太田市生涯学習センター ☎0294-72-8888 カフェ「ピアニッシモ」 ☎029-255-3777 自然食品「イーハトーブの森」 ☎029-254-3752 こどもとおとなの学校「恵藍舎」 ☎029-246-9689 県水戸生涯学習センター ☎029-228-1313 交流サロニーいばらき ☎029-302-2160 水戸市国際交流協会 ☎029-221-1800 水戸市福祉ボランティア会館 ☎029-309-4141 まちの駅みと ☎029-302-3100 菜食カフェレストラン「Ritz'n(りっつん)」 ☎029-856-0009 つくば市市民活動センター ☎029-855-1171 鹿嶋市立中央図書館 ☎0299-83-2510 龍ヶ崎市市民活動センター ☎0297-63-0030 守谷市市民活動支援センター ☎0297-46-3370 下館市立図書館 ☎0926-24-3530 県西生涯学習センター ☎0296-24-1151 県南生涯学習センター ☎029-826-1101 県立図書館 ☎029-221-5569 水戸市立中央図書館 ☎029-226-3951 石岡市まちかど情報センター ☎0299-27-5171 水戸市男女文化センターびよんど ☎029-226-3161 ロイヤルフィットネスクラブ ☎029-273-3281 (無料配布中)

あとがき

過日初めてタンゴを踊らされた。心弾む時、人はいつでも、脚がいちばん踊っているものだ、と思った。弊紙も軽やかな雰囲気を出せたらと思う。(あ)冬は森の手入れの季節なんですね。(か)ホームページの方もプロジェクトチームが鋭意努力中なので、是非ご覧あれ(公感)。

駆け込み情報はこちら! 私たちなか市の高齢者健康運動普及協会は、1月9～12日に開く第2期水中体操指導者短期養成クラスの受講者を募集しています。問い合わせは ☎029・2773・5722へ。